

保育おおさか

平成16年4月1日 第344号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

『連携』の大切さ学ぶ

— 地域子育て情報交換会 —

「地域子育て情報交換会」が、3月25日（木）大阪社会福祉指導センターで開催された。

前半の府児童家庭室からは、保育園が地域子育て支援センター事業を通じ、いかに地域の子育て支援の中核的存在であるかを中心に、また後半の子ども家庭センターからは、虐待を防ぐための機関連携（ネットワーク）の重要性をそれぞれ講演いただいた。

講演Ⅰ

「地域子育て支援センター事業について」

竹本 謙一氏
（府児童家庭室
家庭支援課課長補佐）



講師の竹本謙一氏

はじめに、少子化対策に関する国の動きとして、新エンゼルプランの策定と、次世代育成支援対策推進法の成立についての説明があった。次世代育成対策推進法のポイントのひとつは、

「子育て」が法によって整備されることで、社会全体の責任となったこと。そしてもうひとつは、市町村がニーズ調査をした数値目標の積み上げが、最終的な国の行動計画になるという点である。

次に大阪府としては、保

育所による在宅家庭への子育て支援について力をいれており、具体的には、家庭支援推進保育所を設置し、在宅の子育て家庭を対象に、保育園が外へ出向き、引きこもりがちな家庭に対し、育児相談などの支援をするというものである。

また、地域子育て支援センター事業の地域展開にも期待しており、わんぱくっ子育成推進会議の充実を図り、地域の方々と一緒に話し合いながら、何かひとつでも協同で事業を行い、公と民が一体となった支援を望んでいる。

保育園が、地域の中で果たすべき役割はますます増大する。

講演Ⅱ

「諸機関の連携について」

山本 善造氏
（大阪府中央子ども
家庭センター次長
兼虐待対応課長）

今家族のあり方が複雑化しているため、支援する側も単一機関ではフォローできない状況にある。そこで、関係機関同士の「連携」が最も必要とされている。そのポイントは、まず関係者が集まり、話し合いの場を

もつことである。そして、お互いの機能や役割を正しく理解し、共通目的をもつて協同事業を行うことである。進め方は、①課題の整理②課題の設定③機関の役割分担④評価、を繰り返して行うことである。



講師の山本善造氏

また、ネットワークとは、クモの巣のようなもので、①糸を細かく大きく張り（関係機関をできるだけ多く）②糸を太くし（意思疎通を図り、顔の見える関係を大切に）③糸をネバネバにし（心をもつて接する）④的確な場所に糸を張る（支柱をしっかりと定める）ことが大切である。

虐待が疑われる場合、子どもにとって、その行為が適切か不適切かを判断基準にし、必ず複数で支援しなければならぬ。

虐待を未然に防ぐには、子どものサインを見逃さないことであり、それは子どもに関わっているわれわれの責任でもある。



「他の世界を見てみたい」これが、3年間勤めた我が園を辞める彼の理由。

以前、採用試験を受けに来た彼女には、3年間の保育園での経験があった。彼女が前の園を辞めた理由は「他の世界を見てみたかったから」。ああ、やっぱり。「で、どうだったの?」「保育園がよかった。子どもたちの笑顔や、何より子どもたちと一緒に成長できた実感が忘れられない」。うーん辞めていく彼に聞かせてあげたい。

「石の上にも3年」は、過ぎたけれど何か外を見てみたい気持ち。自分もそんな思いを抱いた一人。どうやら3年というのは、人生の仕切り直しの年のようだ。そんな区切りも人生には、必要か……。

4月から新しい世界に飛び込んでくる新人たち。喜び・期待・意気込みが、葛藤に変わる時は、そう遠くはないけれど、一緒に頑張ろう。自分の頑張りや、子どものためになるなんて、なんて素敵な仕事だろう。そして、「継続は、力なり」ということも忘れずにおこう。

(K・T)

環境悪化にたちむかう

大阪子どもネットワーク

健全な育成

地域支援めざす

◎ 第2回活動交流のつどい ◎

第1部 シンポジウム

「地域子育て支援

について」

まず、民生委員児童委員の立場として、豊中市第一民協の仲峰子主任児童委員から、子どもを取り巻くさまざまな現状に対し、児童委員として何ができるかを話しあい、活動のひとつとして、児童虐待防止のため

「子育て支援」に取り組んできている。親子と直接触れ合うことで、児童委員も今どきの親子の姿を理解でき、短い時間でも「安らぎ」の場を提供できるのではないかと始め、現在では0歳児から3歳児までのサロンを支援している。

地域作りに貢献していき

今後は、早期から関わり、妊婦に対しての話し相手など、支援を今以上に広げていきたいとのことであった。

次に、保育園の立場として、東大阪市のフタバ学園小山よしえ園長から、子育て支援の状況、保護者のニーズ（他児と遊ばせたい・親同士で話す機会や場所がほしい・保育園のことをもっと知りたいなど）に耳を傾け、保育園特有の年齢別活動、園行事への参加などさまざまなことに挑戦し、現在地域の中で定着し

「子育て支援」に取り組んできている。親子と直接触れ合うことで、児童委員も今どきの親子の姿を理解でき、短い時間でも「安らぎ」の場を提供できるのではないかと始め、現在では0歳児から3歳児までのサロンを支援している。



左から コーディネーター：前橋 信和氏（関西学院大学教授）
シンポジスト：仲 峰子氏（豊中市第一民協・主任児童委員）
：小山よしえ氏（フタバ学園園長）
：井路端美穂氏（「わいわい」ネットワーク茨木・南都ブロック長）
：青木 信夫氏（保護司）

いとのことであった。次にネットワーク活動の立場として茨木市の「子どもわいわい」ネットワーク茨木」の井路端美穂ブロック長から、子育て支援活動について報告があった。市を3つのブロックに分け3つの養護施設が事務局を分担し、運営にあたるブロック長を主任児童委員が務めている。目的は一件の虐待も出さないことで、活動は校区ごとにある公民館やコミュニティセンターを借り、チラシで呼びかけお母さんと一緒に作ってあそべる物を考えたり、英語で遊ぶことなどをしていく。今年料理教室も企画し、日頃育児に追われているママたちが料理を楽しみながらストレスを解消し、友だち作りなどの交流をしている。その間、子どもたちはスタッフ

と向かい合うことへの思いなどを切々に話され「命の大切さ」について重みのあるお話を聞くことができた。

第2部 音楽の鑑賞

第2部は、児童養護施設救世軍希望館プラスバンドの演奏で、メンバーは中高生で構成され、いろいろな施設へボランティアとして演奏に出かけている。子どもたちの励みは大きな拍手で、それが一人一人の自信につながっているようである。むずかしい曲を演奏する子どもたちの真剣な表情は、すばらしいものであった。

第3部 活動交流会

第3部の活動交流会では参加者を12グループに分け、「子育て支援」について大阪府全域の民生委員児童委員、校区福祉委員、児童家庭支援センター、指導員、保育士、学生などさまざまな職種や立場の人たちと情報交換を行った。自己紹介や地域での支援活動、現在の悩みなど、それぞれの立場から発表しあい、交流会の場を有意義に過ごすことができた。

（玉串保育園 E・Y）

大阪子どもネットワーク（代表家常恵）が主催する第2回活動交流のつどいが、2月29日（日）大阪社会福祉指導センターで行われ、約180人が参加した。このネットワークは、児童虐待や不登校の増加など、子どもを取り巻く環境が悪化する中で、子どもと家庭の援助に関わる多くの機関・団体・個人が、緩やかなネットワークを形成し、子どもの健全育成と虐待の防止を主な目的に活動している。

今回のつどいでは、第1部を「地域子育て支援について」というテーマで、民生委員児童委員・保育園・ネットワーク活動・保護司それぞれの立場から活動報告が行われた。第2部では、養護施設救世軍希望館の子どもたちのプラスバンドによる音楽の鑑賞、第3部は活動交流会という実り多いつどいとなった。



2004年
記念

バッジデザイン募集

— 赤い羽根共同募金 —

本年10月から実施予定の、第58回赤い羽根共同募金の記念バッジデザインを、近畿5府県共同募金会（滋賀、兵庫、奈良、和歌山、大阪）が合同募集します。

1. デザインのきまり

- ①「赤い羽根」の図案と「年号（西暦）」（平成でも可）を入れる。
- ②使用する色は、3色以内。
- ③デザインの寸法は、たて・よこ25mm以内。
- ④未発表のオリジナル作品で、他者の知的所有権を侵害しないもの。

2. 応募方法

締切日/2004年（平成16年）5月7日（金）

◆郵送のみ

葉書大の用紙1枚にデザイン1点を記入し、裏面に住所・氏名・年齢・職業・電話番号・制作意図を必ず明記して下さい。（応募は1人3点以内までとします）

3. 応募資格

募集共同募金会の5府県内にお住まいの方（滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県・大阪府）

4. 応募送付先・問い合わせ

〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
社会福祉法人 大阪府共同募金会
記念バッジ図案応募係
TEL 06 (6762) 8717 FAX 06 (6762) 8718
E-mail ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

5. 審査・発表

5府県共同募金会広報関係者による審査委員会で厳正に審査し、採用作と佳作を決定します。7月下旬、入賞者に賞金（又は図書券）の発送をもって発表といたします。
なお、入賞作品は、大阪府共同募金会ホームページ（<http://www.akaihane-osaka.or.jp>）に掲載します。

6. 賞金

採用作 1点 5万円
（児童・生徒の場合は図書券）
佳作 10点 各1万円
（児童・生徒の場合は図書券）

7. 著作権・その他

主催者に帰属します。
応募作品は、返却しませんので、ご了承下さい。

8. 主催

社会福祉法人 大阪府共同募金会

ほか

■前回はサブリミナル効果についてお話ししました。

ともかく、意識下であるうがなかろうが、褒める、認める、期待する、励ますなどのコトバをかけ続けられ、子どもたちにも自信がつき、意欲も高まり、頑張ることができるようになります。

■ところが、これとは逆に相手の自信を砕き、意欲を喪失させ、頑張る気力を萎えさせるコトバがあり、そのコトバはキラ・フレーズと呼ばれています。

キラ・フレーズは直訳すれば「殺し文句」となるのですが、この「殺し文句」は「ボクは君といるときが一番しあわせだなあ」とか「わたしの一番大切なものをあげるわ」とかの色気のある「殺し文句」ではなく、文字どおり、その人にダメ

ジを与え、その人のなにかを殺してしまうようなコトバなのです。

■たとえば、職員が運動会の新しい種目のアイデアを提案したのに、園長なり主任が「そんなこと3歳児にできるワケないでしょ」とか「そんなお金のかかることムリに決まってるじゃない

■私事で恐縮ですが、わたしは小学校の音楽の時間に皆の前で歌わされたことがあります。

自分でも上手に歌えなかったなとは思っていたのですが、音楽の先生は「おまえオンチやなあ」と言ったのです。

今では、「リズムとメロディーと音程を除けば、あとは声だけしか問題はない」と言われるほどの立派なオンチ

あの小学校でのトラウマさえなければ、ボクだってもっと歌ったはずですし、歌っていたら、もう少しはマシに歌えるようになって

でもわたしの将来を殺してしまう危険性があるということとです。

しかし、現実にはキラ・フレーズを連発している大人たちのなんと多いことでしょう。

その心ないコトバで、子どもたちをダメにしておいて、「最近の子どもたちは意欲に欠ける」とか「若いくせに元気がない」などと批判するのは、わたしに言わせれば、大人の身勝手というものです。

少なくとも、保育に携わるわれわれだけでも、用意なキラ・フレーズで、子どもたちの大事な将来を傷つけないようにしたいものです。

（英）

落語医者の保育うだうだ話

キラ・フレーズ

いか」とか言下に全面的に否定するようなことが2、3回も続ければ、その職員はプライドを傷つけられ、もう提案したり考えたりする努力を放棄するようになるものです。

こんな、意欲とプライドを傷つけるコトバをキラ・

そのコトバは、それほどバカにした調子ではなく、比較的温かい軽いトーンだったと思うのですが、ナイーブで傷つきやすいわたしの小さな胸にはグサツときたのです。

それ以来、わたしは「歌を忘れたカナリア」になり、

いたはずですが、あれがキラ・フレーズでなくて、なんでしょう。■言いたいことは、われわれ大人の用意なキラ・フレーズは、子どもたちのプライドを傷つけ、子どもたちの可能性や意欲や好奇心を失わせ、その結果、子

心をつけるコトバをキラ・

平成16年度共同募金配分申請の受付が、5月1日から5月20日の期間に行われます。

対象：社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を営営するもの

申請書類の配布：4月20日（火）から

申請を希望される社会福祉法人・社会福祉団体等は、ホームページを閲覧いただくか、もしくは、大阪府共同募金会までお問い合わせ下さい。

TEL 06-6762-8717 FAX 06-6762-8718

URL <http://www.akaihane-osaka.or.jp> E-mail ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

ブロックだより

思わぬ事故が!



16年度 ＝園児のための総合保障制度＝

■昨年度実績数

大阪府社会福祉協議会保育部会では、AIU保険会社の協力で、「園児のための総合補償制度」を実施しています。

平成15年加入者数は8278名様と大変多くのご加入がありました。

■事故発生状況

昨年度の事故発生件数は約550件となっております。

す。傷害、賠償事故ともに、年々増加傾向にあり、ますますこの「園児のための総合補償制度」の重要性が認識されてきております。

■今年度の実施について

今年度から、保障内容をさらに充実させ、Tプラン(新設・8千円)、Aプラン(7千円)、Bプラン(5千円)の3つのプランをご案内させていただくこととしました。Tプラン・Aプランには従来の傷害・個人賠償等の保障だけでなく、「日射病や熱射病の保障」

「O-157やSARSなどの保障」「病気死亡見舞金保障」が追加されております。従来同様、園や通園途上の事故だけでなく、交通事故、レジャー中の事故など、さまざまな事故が対象となります。

■当制度の引受保険会社

AIU保険会社

大阪市中央区久太郎町

4-1-3

大阪センタービル2階

(伊藤忠ビル)

総合保障制度係

担当 島本

TEL 06-6252-4520

FAX 06-6245-4686

保育園をたずねて

315

堺市

新松尾台保育園

いる言葉、大きくなっても大切なこと。

「あいさつ」

「ありがとう」

「あとかたづけ」

を保育の根底におき、

「自分のことは自分でできる子」「友だちと一緒に遊べる子」「丈夫で元気な子」

「自分で考え自分で発表できる子」「思いやりのある子」を目標として保育されています。

(堺東保育園 T・S)



自ら学ぶ トレーニング

—新人研修—
南大阪ブロック

南大阪ブロックの16年度新規採用者新人研修会が、3月3日・4日に河内長野

市市民交流センターで備未来代表吉田幸弘氏を講師に迎え行われました。

今年で10年目を迎える研修も内容を一新、電話対応や挨拶といった社会人としての基本を習得するという内容だけではなく、その必要性、意義を自ら考え、やらされ観ではなく、積極的に行動として実践できるような、参加者の内面を成長させるトレーニングにポイントを置いた内容で開催されました。

中では、グループに分かれ園長、主任役までも自分たちで決め、どんな保育園が喜ばれるかを実習を通じて

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部会
TEL 6762-9001
発行人 土勝
高岡 編集
水崎

て考えてみました。そして、接客のイヤだったこと、うれしかったことを発表する内容では、当たり前ではあるがやはり、あいさつ、相手の立場に立って考えることの重要性を参加者全員が納得されていました。2日間を通じて学んだことを4月から各園で実践していく、希望に変えたすばらしい研修会でした。(げんき保育園 A・M)

大阪府社会福祉協議会就労の両立をこなしてこれら施設福祉部で私たち保育部会の事務局員として3年間の世話いただいた徳丸祥子さんが、4月から人事異動で福祉資金部に移られた。保育部会をはじめ施設福祉部で部会の事務局といえ、大変ハードな業務の部署といえる。一児の母としても真に育児と



の編集委員会事務局員として大きな功績を残していただいた。

新しい部署でのご活躍が期待

される。後任には木越美佳子さんが着任された。稲垣さんとのコンビでよろしくお祈いします。